

友の会視察研修旅行のお知らせ

今年度の視察研修旅行は、茨城県つくば市にある「筑波宇宙センター」です。常設展示の見学はもちろんのこと、今回は、日本で最大規模の宇宙航空開発施設の一部を、宇宙センターのガイド付きで見学します。また、「きぼう」運用管制室や宇宙飛行士の訓練施設の見学も予定しています。期日は、11月26日(日)です。募集案内は後日お知らせいたします。定員は45名を予定しています。応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。

【筑波宇宙センター】

筑波宇宙センターは筑波研究学園都市の一面にあり、1972年に開設しました。約53万平方メートルの敷地に、研究学園都市にふさわしい緑豊かな環境と最新の試験設備を備えた総合的な事業所です。宇宙からの目となる人工衛星の開発・運用およびその観測画像の解析など、日本の宇宙開発の中核センターとしての役割を果たしています。



友の会通信

2017
Vol.
37

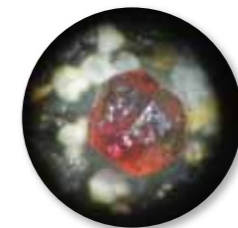
～群馬県立自然史博物館友の会～

第1回
友の会
体験活動

火山が生んだ小さな宝石たち

平成29年5月27日

5月27日(土)、「地質の日」を記念して、第1回友の会体験活動「火山が生んだ小さな宝石たち」を実施しました。博物館学芸員の菅原久誠先生を講師に、実験室で、参加者24名の皆さんと火山灰の中に含まれる鉱物を観察しました。菅原先生のきめ細かなご指導をいただきながら、3つの地域(上越・倉湖・藪塚)で採集した火山灰を双眼実体顕微鏡を使用して観察しました。透明な石英(セキエイ)、オレンジ色のカンラン石、緑色の輝石(キセキ)、すごくレアな赤いザクロ石、青色の堇青石(キンセイセキ)と、まるで宝石箱のようでした。しかし、この日一番の宝石は、これらを観察していた好奇心に満ちあふれた子ども達の瞳だったのではないのでしょうか。
(佐藤真由美)



これからの友の会イベント

【炭焼き体験】

■日時/12月17日(日)
10:00~12:00
■場所/妙義少年自然の家



■内容/ドングリや松ぼっくりなどが、そのままの形で焼き上がる不思議な炭焼きを体験します。炭作りの仕組みや炭の特性、利用法なども楽しく学びます。焼き上がった炭は、作品として持ち帰ります。玄関のインテリアやおしゃれな消臭剤としてみてはいかがでしょうか。
※詳しくは、後日お知らせします。

友の会入会のお知らせ

- 年会費**
- ①一般会員.....3,000円
 - ②高・大学生.....2,000円
 - ③小・中学生.....1,000円
 - ④家族会員.....5,000円
 - ⑤賛助会員(1口).....10,000円

◎10月以降の入会は、年会費が半額になります。
◎入会されますと、博物館入館料が無料、友の会イベントに参加など、多数の特典があります。

賛助会員(7月末現在)

以下、法人・個人の方に趣旨賛同いただきました。ありがとうございました。

(株)三栄商事・(株)新井商会・佐藤春利・(株)群馬小型運送・齋藤紀恵子・柚木 郁・(有)山田会計・(株)高崎冶金工業・(有)松井会計・(有)市川会計事務所

編集後記

最近、赤城山覚満淵周辺で小中学生の自然体験学習のお手伝いをする機会が多くなっています。NPO法人ぐんま緑のインタープリター協会の活動ですが、このNPO法人の目的は、人と自然の懸け橋(自然の解説者)になることです。

自然を理解するための解説も大事ですが、それ以上に五感を使った体験を重視しています。自然を気持ちいいと感じたり、自然を不思議だなんて興味を持ってもらうこと、自然を好きになる取っ掛かりになれたらと考えています。

友の会でも多くのイベントに参加してもらい、知識を学ぶだけでなく、本物に触れる多くの体験をしてほしいと思います。
(櫻井 昭寛)

参加者の声

- 昔、野尻湖友の会で地学の勉強もしましたが、再度また学びたいと思いますのでよろしくお願いします。
(齋藤千春)
- 生まれて初めての美しい世界に感動しました。参加させていただいて感謝です。ありがとうございました。(増田民子)
- 火山灰の中から鉱物を探すのは、本当に宝物を探すようで楽しかったです。(塩谷真理子)
- 難しい内容かと思いましたが、小さな宝石探しが楽しかったです。(佐藤勲雄・佑太郎)
- すごく細かくて、採取するのも見分けるのも大変でしたが、きれいな鉱物を見つけるととても嬉しくなりました。楽しかったです。ありがとうございました。(倉金由起子・加菜子)
- 顕微鏡をのぞくと、いつのまにか夢中になってきれいな石を探していました。(木次道枝・智也・悠人)
- 専門の先生のお話が聞けて良かったです。身近なところに、貴重な宝石の含まれた火山灰があるのは驚きでした。
(松浦陽美子・珠奈)
- 場所によってこんなに違いがあるのかと驚きました。大変勉強になりました。(清水豊・大地)
- ただの砂がとてもきれいですごく楽しく観察できました。粒がつかめなくて大変だったので、練習したいと思いました。また、ぜひやりたいです。(江原久美子・朔)

平成29年
5月7日(日)

平成29年度「友の会総会」開催

平成29年度の友の会の総会が5月7日(日)午前10時から博物館学習室で行われ、17名の参加がありました。総会では柚木会長、藤巻館長の挨拶に引き続き、昨年度の事業報告及び決算報告、今年度の事業案並びに予算案について審議しました。慎重審議の上、全ての議案が承認されました。

今年度も様々な体験活動を予定しており、会員同士の親交が深められればと思います。会員皆さまの積極的な参加をお待ちしております。

会長あいさつ 会長 柚木 郁



昨年、自然史博物館開館20周年にあたり、開館以来の総括を行い、新たな歴史のスタートを切り、県民に愛される博物館として着々と実績を残しています。友の会としては側面から支援したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

ところで、常々考えているところですが、自然界に生息する動植物に触れ、生き物の歴史を知ることは現代に生きる私たちにとって、環境問題を含めて極めて重要なことだと思います。温暖化が叫ばれている今、博物館の果たす役割は今まで以上に期待されていると思います。友の会の活動に示唆を与えるものとして推進したいと考えています。

友の会会員の山田利和副会長、堀越友子運営委員の両氏が退任されました。両氏とも20年近く会の運営に関わり、会の発展・充実に寄与されました。心より感謝申し上げます。

友の会としては、先輩の残した足跡をさらに発展するべく全力をあげます。会員の皆様方共々ご指導くださいますようお願い申し上げます。

平成29年度友の会役員紹介

《平成29年度の役員・事務局》

- 【会 長】 柚木 郁
- 【副 会 長】 新井開三九
- 【運営委員】 櫻井 昭寛・三友 賢一・北爪 二郎・伊丹 清美・佐藤真由美・大塚きぬ江
- 【事務局】 浅野 春仁・静野 聡・小須田健志
- 【監 事】 松井 則幸・瀬下 保
- 【顧 問】 横田 英一・青木 道雄・原 浩一郎・池下 隆雄・川原 英雄

*この度の総会におきまして役員交代がありましたのでご報告いたします。
(ご退任) 山田 利和さん、堀越 友子さん
(新役員) 大塚 きぬ江さん

友の会講演会

友の会総会後に当館長谷川名誉館長を講師に迎え、友の会講演会を行いました。今回は、「港川人」、そして、博物学者「フンボルト」の2つのテーマでご講演いただきました。当時の貴重な写真や資料をスライドで紹介していただきながら、研究者としての視点に立ちながらわかりやすくお話くださいました。また、たくさんの実物化石を間近で見せていただきながら、参加者一人ひとりの質問にも丁寧にお答えいただきました。



長谷川名誉館長



講演会終了後

私が見つけた自然

「二股トカゲ」

おじいちゃんの田んぼで、二股のトカゲを見つけました。今まで見たことがなかったもので、とても驚きました。

(江原朔玖)



「ヘリカメムシの仲間」

下仁田南牧の河原で見つけました。まあ、お洒落な背中！あなたは、だぁーれ？

(大塚きぬ江)



「ミヤマシロチョウとミヤマモンキチョウ」

群馬ナチュラリスト自然保護協議会の観察会に参加して、群馬県指定天然記念物で環境省レッドリストの絶滅危惧Ⅱ類のミヤマシロチョウと準絶滅危惧のミヤマモンキチョウを観察しました。高山の限られた場所にしか生息してない事もありなかなか見るチャンスがなかったのですが、今回少年時代から憧れていたチョウに出会うことが出来ました。山の稜線を優雅に飛び交う姿はとても感動的でした。

(倉金秀行)



私が見つけた自然 募集中

自分の身の周りで、かわいらしい自然を見つけたとき、珍しい自然と出会ったとき、その瞬間をカメラで記録し、写真とその時のエピソードを添えて自然史博物館の友の会へ封書またはメール(事務局アドレス:shizuno@gmnh.pref.gunma.jp)でお送り下さい。

会員同士、すてきな自然の情報交換の場になればと考えています。なお、応募していただいた方にすてきな賞品をプレゼントします。